

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月31日

協議会名: 沖縄県生活交通確保維持協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
沖縄バス(株)	(系統名) 名護東線 (運行区間) 那覇～辺野古～名護 車両減価償却費等国庫補助金4台分対象	バスロケーションシステムの周知や路線沿線の学校へのバス通学の案内などの啓発活動を実施し、利用者の増加に努めた。 利用状況等を踏まえた運行形態、ダイヤの見直しなど、持続可能な運行を検討した。 また、バス路線の確保・維持に向け、関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向けた取組を行った。	A 概ね適切に実施された。	■運行日数 (目標)365日→(実績)365日 ■1日あたり運行回数 (目標)19.6回→(実績)19.6回 ■平均乗車密度 (目標)5.0人→(実績)6.1人 ■輸送量 (目標)98.0人→(実績)119.7人	目標を達成した。 バス路線の確保・維持に向け、引き続き関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向け取り組む。
沖縄バス(株)	(系統名) 与勝線 (運行区間) 那覇～渡口～屋慶名 車両減価償却費等国庫補助金5台分対象	バスロケーションシステムの周知や路線沿線の学校へのバス通学の案内などの啓発活動を実施し、利用者の増加に努めた。 利用状況等を踏まえた運行形態、ダイヤの見直しなど、持続可能な運行を検討した。 また、バス路線の確保・維持に向け、関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向けた取組を行った。	A 概ね適切に実施された。	■運行日数 (目標)365日→(実績)365日 ■1日あたり運行回数 (目標)15.0回→(実績)15.6回 ■平均乗車密度 (目標)4.5人→(実績)6.2人 ■輸送量 (目標)67.4人→(実績)96.9人	目標を達成した。 バス路線の確保・維持に向け、引き続き関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向け取り組む

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月31日

協議会名: 沖縄県生活交通確保維持協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)琉球バス交通	(系統名) 玉泉洞糸満線 (運行区間) 糸満～具志頭～玉泉洞	バスロケーションシステムの周知や路線沿線の学校へのバス通学の案内などの啓発活動を実施し、利用者の増加に努めた。 利用状況等を踏まえた運行形態、ダイヤの見直しなど、持続可能な運行を検討した。 また、バス路線の確保・維持に向け、関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向けた取組を行った。	A	概ね適切に実施された。	A ■運行日数 (目標)365日→(実績)365日 ■1日あたり運行回数 (目標)11.6回→(実績)11.6回 ■平均乗車密度 (目標)2.0人→(実績)2.0人 ■輸送量 (目標)23.2人→(実績)23.2人	目標を達成することができた。 バス路線の確保・維持に向け、引き続き関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向け取り組む。
(株)琉球バス交通	(系統名) 豊見城市内一周線 (運行区間) 豊崎～渡橋名～豊崎	バスロケーションシステムの周知や路線沿線の学校へのバス通学の案内などの啓発活動を実施し、利用者の増加に努めた。 利用状況等を踏まえた運行形態、ダイヤの見直しなど、持続可能な運行を検討した。 また、バス路線の確保・維持に向け、関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向けた取組を行った。	A	概ね適切に実施された。	A ■運行日数 (目標)365日→(実績)365日 ■1日あたり運行回数 (目標)13.3回→(実績)13.3回 ■平均乗車密度 (目標)4.8人→(実績)6.0人 ■輸送量 (目標)63.8人→(実績)79.8人	目標を達成することができた。 バス路線の確保・維持に向け、引き続き関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向け取り組む。
(株)琉球バス交通	(系統名) 百名線(船越経由) (運行区間) 那覇～船越～百名	バスロケーションシステムの周知や路線沿線の学校へのバス通学の案内などの啓発活動を実施し、利用者の増加に努めた。 利用状況等を踏まえた運行形態、ダイヤの見直しなど、持続可能な運行を検討した。 また、バス路線の確保・維持に向け、関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向けた取組を行った。	A	概ね適切に実施された。	A ■運行日数 (目標)365日→(実績)365日 ■1日あたり運行回数 (目標)10.7回→(実績)10.9回 ■平均乗車密度 (目標)3.7人→(実績)5.0人 ■輸送量 (目標)39.5人→(実績)54.5人	目標を達成することができた。 バス路線の確保・維持に向け、引き続き関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向け取り組む。

(株)琉球バス交通	<p>(系統名) 百名線(東風平経由)</p> <p>(運行区間) 那覇～東風平～百名</p>	<p>バスロケーションシステムの周知や路線沿線の学校へのバス通学の案内などの啓発活動を実施し、利用者の増加に努めた。</p> <p>利用状況等を踏まえた運行形態、ダイヤの見直しなど、持続可能な運行を検討した。</p> <p>また、バス路線の確保・維持に向け、関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向けた取組を行った。</p>	A	概ね適切に実施された。	A	<p>■運行日数 (目標)365日→(実績)365日</p> <p>■1日あたり運行回数 (目標)24.0回→(実績)24.6回</p> <p>■平均乗車密度 (目標)4.8人→(実績)7.1人</p> <p>■輸送量 (目標)115.2人→(実績)174.6人</p>	<p>目標を達成することができた。</p> <p>バス路線の確保・維持に向け、引き続き関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向け取り組む。</p>
-----------	---	---	---	-------------	---	---	--

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月31日

協議会名: 沖縄県生活交通確保維持協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【共同運行】 沖縄バス(株)・ (株)琉球バス交通	(系統名) 本部半島線 (運行区間) 名護～渡久地～名護	関係市町村のHPや広報誌等において、路線バスの紹介やバスロケーションシステムの周知等を行い、利用者の増加に努めた。 また、バス路線の確保・維持に向け、関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向けた取組を行った。	A	概ね適切に実施された。	B ■運行日数 (目標)365日→(実績)365日 ■1日あたり運行回数 (目標)32.2回→(実績)31.8回 ■平均乗車密度 (目標)2.4人→(実績)2.1人 ■輸送量 (目標)77.2人→(実績)66.7人	運転手不足による減便の影響により平均乗車密度及び輸送量は目標を達成できなかった。 バス路線の確保・維持に向け、引き続き関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向け取り組む。
【共同運行】 沖縄バス(株)・ (株)琉球バス交通	(系統名) 辺土名線 (運行区間) 名護～大宜味～辺土名	関係市町村のHPや広報誌等において、路線バスの紹介やバスロケーションシステムの周知等を行い、利用者の増加に努めた。 また、バス路線の確保・維持に向け、関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向けた取組を行った。	A	概ね適切に実施された。	B ■運行日数 (目標)365日→(実績)365日 ■1日あたり運行回数 (目標)17.3回→(実績)17.2回 ■平均乗車密度 (目標)2.3人→(実績)2.4人 ■輸送量 (目標)39.7人→(実績)41.2人	運行回数以外は達成できた。 バス路線の確保・維持に向け、引き続き関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向け取り組む。
【共同運行】 沖縄バス(株)・ (株)琉球バス交通	(系統名) 名護西・空港線 (運行区間) 那覇空港～屋富祖～名護	関係市町村のHPや広報誌等において、路線バスの紹介やバスロケーションシステムの周知等を行い、利用者の増加に努めた。 また、バス路線の確保・維持に向け、関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向けた取組を行った。	A	概ね適切に実施された。	A ■運行日数 (目標)365日→(実績)365日 ■1日あたり運行回数 (目標)32.0回→(実績)31.8回 ■平均乗車密度 (目標)3.8人→(実績)7.2人 ■輸送量 (目標)121.6人→(実績)228.9人	目標を達成できた。 バス路線の確保・維持に向け、引き続き関係機関と連携し、路線バス運転手の確保に向け取り組む。